

# PCB含有電気機器の保有に関する調査票

使用中の電気設備については、接触等により感電の恐れがあり非常に危険ですので、調査のために設備に近づかないでください。

銘板記載内容を転記するなど、既に作成された書類により確認できる範囲で調査してください。  
また、調査にあたっては、電気設備を管理している電気主任技術者に必ずご相談ください。

調査票の記入にあたっては、別紙「高濃度PCB使用・不使用の判別方法」及び別紙2「安定器のPCB使用・不使用の判別方法」を参考にしてください。

## ●記入者情報（記入者情報をご記入ください。）

記入内容について問い合わせさせていただくことがありますので、必ず連絡先（記入者氏名、電話番号）を記入してください。

記入年月日	年 月 日 ( )		
事業者名			
事業所名			
事業所住所	〒		
業種 (該当する業種に○印を付けてください)	A 農業、林業 B 漁業 C 鉱業、採石業、砂利採取業 D 建設業 E 製造業 F 電気・ガス・熱供給・水道業 G 情報通信業 H 運輸業、郵便業 I 卸売業、小売業 J 金融業、保険業	K 不動産業、物品賃貸業 L 学術研究、専門・技術サービス業 M 宿泊業、飲食サービス業 N 生活関連サービス業、娯楽業 O 教育、学習支援業 P 医療、福祉 Q 複合サービス事業 R サービス業（他に分類されないもの） S 公務（他に分類されるものを除く）	
記入者氏名		電話番号	- -

## ●PCB廃棄物特別措置法に基づく届出の有無

PCB廃棄物特別措置法に基づき、都道府県市に対し PCB 含有電気機器の保管状況について届出をされている場合は「あり」に、届出をされていない場合は「なし」に、○印をつけてください。

PCB廃棄物特別措置法の届出の有無	(あり・なし)
-------------------	---------

## ●電気関係報告規則に基づく報告の有無

電気関係報告規則に基づき、設置場所を所管する産業保安監督部長に対し PCB 含有電気機器の使用・廃止状況について報告をされている場合は「あり」に、報告をされていない場合は「なし」に、○印をつけてください。

電気関係報告規則に基づく報告の有無	使用	(あり・なし)
	廃止	(あり・なし)

【お問い合わせ窓口】

岐阜市環境部産業廃棄物指導課 (電話 058-214-2170)

# 1. トランス、コンデンサ等の保有の有無

- ① 使用中または使用を終えて保管しているトランス、コンデンサ等を保有していますか。  
 ●下の写真に示す電気機器がトランス、コンデンサです。

トランス



コンデンサ



- その他、計器用変成器、リアクトル、放電コイル、電圧調整器、整流器、開閉器、遮断器及び中性点抵抗器はトランス類、避雷器（サージアブソーバー）はコンデンサ類としてください。  
 保有している場合は「あり」に、保有していない場合は「なし」に、○印をつけてください。

トランス、コンデンサ等の有無	(あり・なし)
「あり」の場合、次の「2」にお進みください。	「なし」の場合、最終面の「4」にお進みください。

# 2. 使用を終えて保管しているトランス、コンデンサ等について

- ① 使用を終えて保管しているトランス、コンデンサ等を保有していますか。  
 保有している場合は「あり」に、保有していない場合は「なし」に、○印をつけてください。

使用を終えて保管しているトランス、コンデンサ等の有無	(あり・なし)
「あり」の場合、次の②にお進みください。	「なし」の場合、「3」にお進みください。

- ② 使用を終えて保管しているトランス、コンデンサ等にPCBは含まれていますか。  
 別紙1「トランス・コンデンサの高濃度PCB使用・不使用の判別方法」により判別してください。

PCBの種類	機器の種類	台数	処理期限
高濃度 PCB 含有機器 (5,000 mg/kg を超える機器)	トランス類	台	2022年3月31日
	コンデンサ類	台	
高濃度機器の可能性はあるが不明 (鉛確認などができず、濃度分析を行っていない)	トランス類	台	
	コンデンサ類	台	
微量・低濃度 PCB 含有機器 (0.5 mg/kg 超~5,000 mg/kg の機器)	トランス類	台	2027年3月31日
	コンデンサ類	台	
微量・低濃度機器の可能性はあるが不明 (鉛確認などができず、濃度分析を行っていない)	トランス類	台	
	コンデンサ類	台	
PCB 含有機器ではない (0.5 mg/kg 以下又は不検出)	トランス類	台	
	コンデンサ類	台	

「3」にお進みください。

右頁面の「3」に使用中のトランス、コンデンサ等の情報をご記入ください。

最終面の「4」に安定器の情報をご記入ください。

### 3. 使用中のトランス、コンデンサ等について

- ① 使用中のトランス、コンデンサ等を保有していますか。  
 保有している場合は「あり」に、保有していない場合は「なし」に、○印をつけてください。

使用中のトランス、コンデンサ等の有無	( あり ・ なし )
「あり」の場合、次の②にお進みください。	「なし」の場合、「4」にお進みください。



以下の「②」の項目は、使用中の機器に近づくと危険ですので、既に作成された書類により確認できる範囲でお答えください。

- ② 使用中のトランス、コンデンサ等にPCBは含まれていますか。  
 別紙「トランス・コンデンサの高濃度PCB使用・不使用の判別方法」により判別してください。

PCBの種類	機器の種類	台数	処理期限
高濃度 PCB 含有機器 (5,000 mg/kg を超える機器)	トランス類	台	2022年3月31日
	コンデンサ類	台	
高濃度機器の可能性はあるが不明 (銘板確認などができず、濃度分析を行っていない)	トランス類	台	
	コンデンサ類	台	
微量・低濃度 PCB 含有機器 (0.5 mg/kg 超～5,000 mg/kg の機器)	トランス類	台	2027年3月31日
	コンデンサ類	台	
微量・低濃度機器の可能性はあるが不明 (銘板確認などができず、濃度分析を行っていない)	トランス類	台	
	コンデンサ類	台	
PCB 含有機器ではない (0.5 mg/kg 以下又は不検出)	トランス類	台	
	コンデンサ類	台	
機器の情報等を記入して下さい。			

◎上記2と3について、保有及び使用しているトランス、コンデンサ等の種類、処理見込み時期等を下記に記入してください。

(記入例)：使用中のトランス2台の濃度分析結果 (PCB濃度：1.5mg/kg、3.1mg/kg)

保管中のコンデンサ1台 (高濃度含有機器) ○○会社製 1970年製造

濃度区分は、メーカーに確認済 不明機器は、濃度検査は未実施

処理見込み時期：2021年5月頃 (高濃度・低濃度ともに)



最終面の「4」に、安定器の情報をご記入ください。

#### 4. 使用を終えて保管している安定器について

- 安定器は、照明器具の裏側に設置され、電灯のちらつきを安定させる装置のことで、蛍光灯安定器、ナトリウム灯安定器、水銀灯安定器などがあります。下の写真に示す電気機器が安定器です。



- ① 使用を終えて保管している安定器はありますか。  
保管している場合は「あり」に、保管していない場合は「なし」に、○印をつけてください。

使用を終えて保管している安定器の有無	( あり ・ なし )
「あり」の場合、次の②にお進みください。	「なし」の場合、「5」にお進みください。

- ② 使用を終えて保管している PCB 使用安定器は何台 ( 又は何 kg ) ありますか。  
PCB 含有の有無が不明な場合には、別紙 2 「安定器の PCB 使用・不使用の判別方法」により判別してください。  
PCB 使用安定器を保管していない場合は、「0」(ゼロ) を記入してください。

保管中の「PCBが使用された安定器」	台数	重量	処理年度(見込)		処理期限
	台	kg	平成	年度	2021年3月31日
「5」にお進みください。					

#### 5. PCBが含まれている安定器の使用について

- 業務用・施設用の照明器具を使用している場合で、建物を建築した時期が昭和52年(1977年)3月以前の場合は、照明器具の付属品である安定器に PCB が含まれている可能性があります。

- ① 事業所の建物を建築した時期は、昭和52年(1977年)3月以前ですか。

事業所の建物を建築した時期は昭和52年(1977年)3月以前である。	( はい ・ いいえ )
「はい」の場合、次の②にお進みください。	「いいえ」の場合、設問終了です。

- ② PCB が含まれている安定器について、使用中のものがありますか。  
PCB 含有の有無が不明な場合には、別紙 2 「安定器の PCB 使用・不使用の判別方法」により判別してください。  
確認できない場合には、「不明」を選択してください。

使用中の「PCBが使用された安定器」	台数	処理年度(見込)	処理期限
	台	年度	2021年3月31日
PCB が含まれている安定器を使用している。		( はい ・ いいえ ・ 不明 )	

調査終了です。ご協力ありがとうございました。  
ご送付いただいた調査票は返却いたしません。

## 《 別紙 1 》

### トランス・コンデンサの高濃度PCB使用・不使用の判別方法

使用中の電気設備については、接触等により感電の恐れがあり非常に危険です。調査のために設備に近づかないでください。

使用中の電気設備については、お手元にある書類により確認できる範囲で調査してください。

また、調査にあたっては、貴社の電気設備を管理している電気主任技術者に必ずご相談ください。

- 下の写真に示す電気機器がトランス、コンデンサです。

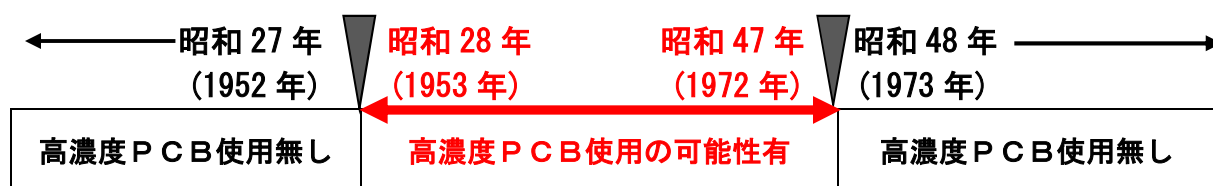


トランス



コンデンサ

- 「トランス、コンデンサが高濃度のPCBを使用しているか否か」については、お手元にある書類をもとに機器の製造年、型式が確認できる場合、裏面の「トランス・コンデンサ判別リスト」で判別ください。
- 国内メーカーで昭和27年（1952年）以前及び昭和48年（1973年）以降に製造された機器については、高濃度のPCBを使用した機器はありません。



※この製造年別の判別は外国製など一部の機器については該当しない場合があります。

こちらに記載した判別方法がわからない場合は、設備を管理している電気主任技術者に確認してください。

※ PCBの使用について、明確に判別できなかった場合は、『不明』としてください。

(PCBが含有していないことが明らかな機器に「PCB不含有証明書」を発行している製造メーカーもございます。メーカーにお問い合わせいただき、ご相談ください。)





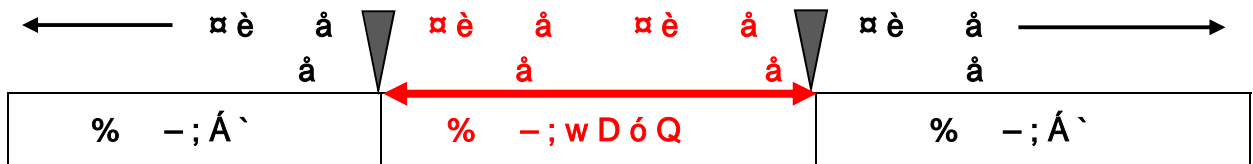
□ □ □

# 安定器のPCB使用・不使用の判別方法

Ô<wø tÔb?>;+U† +pb{

Ô®† +U% ›-;`oM" TqT`tmMoxz ‡czâ Ôç°0øÝ"§"~ " ~  
 — p ~ a â Dsr£›-Ý`oXi^M{f•t,nVz ÔŠ°ì» Àq )1  
 çIUUQ XXX KMNB PS KQ LBOLZP-Yô"ÇzjØw Fy@tjN-Ý"§  
 "ðùdœæµÄ-tGLwÝ"§"í± •ðMù~doXi^M{

Ô °Ý"§"pæ è âç â£Ž²t|æ è âç â£Žñta  
 ^•h† +tmMoxz% ›-;`h† +xK"‡dœ{



P\wa â wQ xŽ asr°æw;+tmMox~p`sMÔùUK"‡b{

